

公益財団法人日本バレーボール協会 2015 年度 臨時評議員会 概要

1 日 時 : 2015 年 8 月 18 日 (火) 13:55~15:30

2 会 場 : 東京体育館 第 4 会議室

3 出席者

評議員総数 15 名

出席評議員 12 名

梅野 實、木高 譲、嶋岡健治、田村悦智子、中島 茂、西川友之、福田順一、
不老浩二、三屋裕子、柳橋 武、山岸英一、山本章雄

監事総数 3 名

出席監事 2 名

高橋治憲、廣紀江

理事総数 15 名

出席理事 5 名

木村憲治、下山隆志、宮島淑行、桐原勇人、宮嶋泰子

4 議 長 : 西川友之評議員

5 決議事項

(1) 理事選任について

6 議事の経過の要領及びその結果

議長が開会を宣し、本評議員会は、定款 24 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。続いて、議事録記名押印評議員に中島評議員、山本評議員を選出した。議事開始前に会長より、評議員会運営規程に基づく会議進行補助のための事務局員の同席、及び会長又は担当理事に代わる事務局員による案件説明実施について議長の許可を受けたいとの発言があり、議長は事務局員の同席と発言を許可した。

(1) 理事の選任について

木村会長より理事会決議による理事候補者として、井原実氏、林孝彦氏 2 名が推薦され、賛否を諮りこれを承認可決した。

本年 6 月 22 日の定時評議員会にて 17 名の理事が選任され、その後、6 月 23 日の理事会において会長及び業務執行理事計 4 名が決定された。しかし、現状では、業務執行理事が不足しているため、会長が事務局長を兼務する等、事業運営において不十分な体制となっている。この状況を解決するためには業務執行理事を担える理事の追加選任がどうしても必要との判断から、7 月 29 日の臨時理事会の決議により、評議員会に推薦する 2 名の理事候

補者が決定された。

[推薦理由]

井原実氏 : 長年にわたる米国及び日本国内での公認会計士としてのキャリアやVリーグ機構での副会長としての経験を有する井原氏は、喫緊の課題である財政基盤の強化充実や中長期の経営計画及び改革計画の企画・立案及びその実行が求められている本会にとって是非とも必要な人材であり、理事として推薦いたしたい。

林孝彦氏 : 強豪実業団チームでのプレーヤー及びチームの副部長としての経験を積み、Vリーグ機構の事務局長として都道府県協会との連携やリーグ改革に取り組み成果を挙げてきた。これらの実績や能力を有する林氏は、本会にとって有用な人材であり、理事として推薦いたしたい。

決議事項が終了した後、各業務執行理事より就任から約2ヶ月間における職務執行報告及び評議員との意見交換が行われた。

【木村会長 兼 事務局長】

- ①スポンサー、メディア等への会長就任の挨拶回り
- ②各大会の開会式・閉会式での挨拶
- ③全国ママさんバレーボール連盟会長との意見交換
- ④国際大会の契約業務

【下山業務執行理事・国内 兼 国際事業本部長】

- ①9人制男子赤城カップ大会視察
- ②2017年度愛媛国体、ビーチバレーボール正式種目決定の御礼と挨拶
- ③中部（東海・北信越）総合大会視察
- ④大会、競技会、講習会において、危機管理の徹底と熱中症の注意喚起
- ⑤ワールドカップの入場券収入と大会日程

【宮島業務執行理事・M&M事業本部長】

- ①業務執行理事就任のご挨拶（スポンサー、メーカー、サプライヤー、メディア等）
- ②ワールドリーグ・ワールドグランプリ大会での来賓対応
- ③スポンサーとの契約締結業務
- ④ビーチバレーボール大会におけるマーケティングについて
- ⑤バレーボールステーション@原宿の売り上げ状況

【桐原業務執行理事・ビーチバレーボール事業本部長】

① FIVB グランドスラム横浜大会の結果と今後の課題について

以上をもって、議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 15:30 に閉会を宣した。